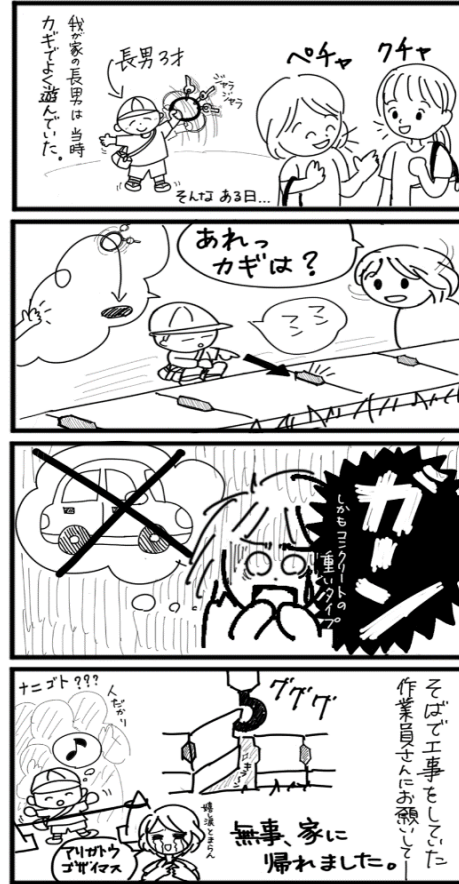


長雨が終わった途端、真夏の暑さが続きます。皆さんいかがお過ごしでしょうか。当院は先月記念すべき第一回子育てサークルを開催しました！コロナ禍で交流が難しい状況ですが、毎月続けていきたいです。また子育てに不安のある保護者の相談窓口を開設予定。今後は小児医療と育児支援、そして美容医療と頑張っ参ります(*^^*)！！院長 池澤滋

感染症情報 7/26~8/22	前回	今回
アデノウイルス	5	3
溶連菌感染症	3	0
感染性胃腸炎	32	32
水痘（水ぼうそう）	1	2
手足口病	30	50
RSウイルス	5	3
突発性発疹	16	13
りんご病	1	0
ヘルパンギーナ	2	0
ヒトメタニューモ	0	0
インフルエンザA	0	0
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	4	3

住所:合志市野々島 2461 (ユーパレス弁天 北側)
TEL:096-242-6633
診療時間:9:00~14:00~18:00
休日:木曜・土曜午後・日曜祝
URL:http://www.ikezawa.org/



長男は幼い頃、よくカギでジャラジャラ遊んでいました。ある日、少し目を離れた時、カギがとんでもない事に

4コマまんが 作・絵 ちえこ&きみこ

「親離れ、子離れ」



かつて、我が子に乗せた幼稚園のバスを見送りながら「毎朝涙がでる」という友人がいた。それを聞いた時、きよんとしてしまった。意味がわからないのだ。「ん？どういこと？」と聞くと「えー、寂しいじゃないですか？」と彼女は真顔でそう答えた。当時の私はというと「ふー、やっ行った～！仕事ができる」バスを見送りながらそんな風にしか思えなかったのだ。我が子の為なら何でも出来るほど愛してはいたけれど、そこまで寂しくはないし、まったくもって涙はでない。しかしあの「離れるのが寂しい」と毎朝涙を流す彼女の感情は十年の時を超えなぜかずっと私の心にへばり付いたままだった。

時が過ぎ、昨年我が子は全員成人した。末娘も22歳、一人暮らしをし始めて3年あまり。危ないからと大学を卒業するまでは車の所有を禁止していたが、医学部5年生となり実習もあちこち行くからという理由で今年とうとう初心者マークデビュー。これまで久留米から熊本に帰るたびに送り迎えをしていたけれど、最近は初心者ながら一人で高速に乗って帰ってくるようになった。裏口から突然リビングに現れる娘に、びっくりしながらも、本当に手がかからなくなったことを実感している。これまではアパートに降ろして、部屋を片付けて、ゴミ出しして、お惣菜を置いて、帰宅していたのに…。



今はもう、この玄関先で彼女を見送るだけ。車に乗り出した当初は「ゆっくり走りなさいよー！着いたら連絡してよー！」と車を追いかけてながら叫んだが、あつという間に運転技術は上達し、今は大して心配もなくなった。近頃は帰省してもコロナの影響で外食することはほぼないが、みんなでご飯を作って、みんなで片付けてみんなで寝て、またみんなで朝を迎える。家族でただゆっくりと過ごす時間こそかけがえのないものと改めて感じている。そんな「普通」の時を過ごし、娘はまた初心者マーク付きの車に乗り込んで「じゃあねー」と手を振る。もう「いつてらっしい」も「またね」も違う気がする。こんな時はどんな言葉がふさわしいのだろう。我が子と共に過ごす時間はあとどれくらいあるのだろう。「気をつけてよ！慣れた頃に事故るらしいよ」私が怖い顔で念を押し、娘が明るく「バイバイ」と手を振る。暗闇の中、テールランプに灯る娘の生まれた日。霞んでいくナンバープレートを見送りながら立ち尽くす私の頭にふとあの時の友人の言葉が蘇る。長い年月を経て彼女の涙の意味が、やっとわかった気がした。



文責:池澤千恵子

